

【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】

観音竹



9月の目標

生活：身のまわりの整理せいとんをしよう

保健：じょうぶなからだをつくろう

安全：安全に気をつけた歩行や自転車の乗り方をしよう

令和3年 9月号

R3. 9. 3 発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

「収穫」 ～稲の生長と子どもたちの成長～

校長 濱元 弘

電話が鳴った。

「稲の苗があるのですが、学校で取り組んでみませんか？」

6月1日 火曜日の午後3時頃だった。

6月号「一本の電話から」の冒頭の文章です。次の写真のように、三か月後の9月3日 金曜日の午前9時頃、稲刈りをすることができました。正直、ここまで立派に育つとは。ただただ驚くばかりです。電話をいただいた時、収穫した田んぼは花壇だったのですから・・・



花壇から・・・



水田へ



田植え



田車



実った稲穂



稲刈り



天日干しへ



刈り終わり・・・

子どもたち、そして、学校は、お米が収穫できただけでなく、もっと大きな収穫がありました。

◆ 5年の社会科「米づくりのさかんな地域」という学習を教科書だけでなく、実際に体験して学ぶことができた。

◆ 町学校応援団事業などを活用し、学校と『社会』（地域・保護者など）が連携・協働することで、田植えから収穫まで体験することができた。脱穀、食べる（おにぎり）まで学習は続きます。

◆ 情報発信のプロ（新聞記者）に活動の様子を『社会』に伝えていただいた。

学校が社会（地域、保護者など）とつながり、いろいろな専門家と連携・協働しながら、子どもたちの学びを進めることが、より広く深く大きく、子どもたちを成長させるのだと実感しました。

これからも、子どもたちが将来社会的に自立し、よりよく生きていくことができるように、このような活動を進めていきます。